

# TEAM UP GARAGE ISR Performance GT Radial 2024 FormulaDRIFT Race report



**FORMULA DRIFT**<sup>®</sup>



# FORMULA DRIFT®

FormulaDRIFT第6戦は、シリーズの開催トラックのなかで最もスピード域の高いバンクトラックである、シアトル エヴァーグリーンスピードウェイにて開催された。バンクを全開で駆け抜ける時間は約10秒間、走行スピードは、約135キロほどの進入スピードをさらに上回る。バンクを終え迫りくるインフィールドエリアはバンクスピードの半分以下のスピードとなり、低高速域が入り混じったレイアウトである。イベントは全日程、日中に開催されるためコンディションの変化は少ないが、西日が差し、コースの景色がまるで違うように見える時間帯には、クラッシュも多く発生することでも知られている。

## イベントウィークエンドのハイライト

イベント入場者数: 16,750人

ライブストリーム/イベントコンテンツ観覧者: 8,500,000 人超

ライブストリーム視聴時間: 20,000,000 分

## イベントウィーク(8月4日-8月14日)におけるFormulaDRIFT 各ソーシャルメディアハイライト



フォロワー数: 2,600,000+  
視聴数: 2,800,000  
リーチ数: 3,900,000  
エンゲージメント数: 3,400,000  
インプレッション数: 12,000,000

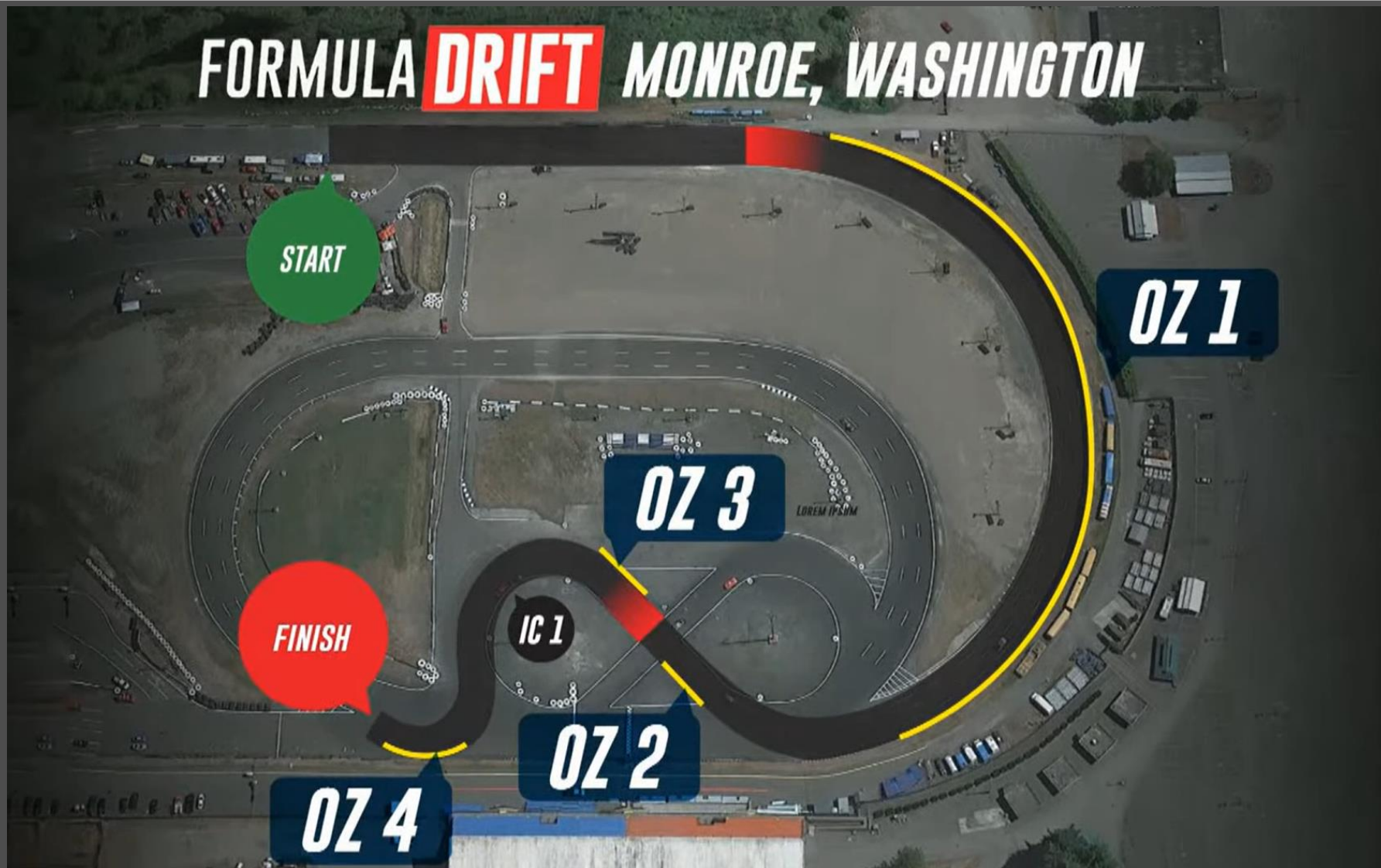


フォロワー数: 1,800,000  
視聴数: 4,500,000  
リーチ数: 2,800,000  
インタラクション数: 200,000  
インプレッション数: 6,100,000



サブスクライブ数: 659,000  
視聴数: 1,000,000  
インプレッション数: 14,300,000  
視聴時間: 343,000分

# FORMULA DRIFT MONROE, WASHINGTON



# FormulaDRIFT USA 2024 Rd.6 TOP32 Final Bracket

TOP 32		TOP 16		GREAT 8		FINAL 4		FINAL 4		GREAT 8		TOP 16		TOP 32	
1	James Deane													Hiroya Minowa	2
32	Forrest Wang	Deane										Minowa		Federico Sceriffo	31
16	Simen Olsen	Jones										Hurst		Jonathan Hurst	15
17	Jeff Jones			Jones	Jones			Minowa	Minowa					Nick Noback	18
8	Conor Shanahan			Castro					Taguchi					Dylan Hughes	7
25	Mike Power	Shanahan										Robbins		Alec Robbins	26
9	Chris Forsberg	Castro										Taguchi		Taylor Hull	10
24	Jhonnattan Castro													Kazuya Taguchi	23
<b>FINAL BATTLE</b>															
Ryan Tuerck — VS — Hiroya Minowa															
4	Matt Field													Fredric Aasbo	3
29	Daniel Stuke	Field										Aasbo		Kyle Mohan	30
13	Ryan Tuerck	Tuerck										Beechum		Rome Charpentier	14
20	Ryan Litteral			Tuerck	Tuerck			LZ	Beechum					Trenton Beechum	19
5	Aurimas Bakchis			Bakchis					LZ					Adam LZ	6
28	Derek Madison	Bakchis										LZ		Robert Thorne	27
12	Branden Sorensen	Sorensen										Burkett		Ken Gushi	11
21	Diego Higa													Dan Burkett	22

## (Friday) 2024年8月9日

### 公式練習走行日

基本的なコースレイアウトは昨年同様。唯一違う点としては、今シーズンは予選走行無しに追走トーナメントから始まるため、予選走行用のセットアップを探らずに走行1周目から追走に照準を合わせていけるということ。しかし、シアトルのバンクトラックは追走走行の為にスピードだけを追い求めていくと先行走行時に、求められるラインを走行することが非常に困難となるため、スピードとコントロール性を両立させるセットアップが重要となる。今ラウンドでは、ポイント獲得の1周目の走行から、そのバランスを崩す一歩手前の攻めたセットアップで挑んだ。それゆえに連数走行ではマシンのコントロール性能を若干犠牲にしたセットアップに戸惑うも、練習走行後半にはエンジン出力とグリップレベルが良いバランスをとれる状態まで持ち込むことができ、さらには新品タイヤをわずかに2周持たせられるほどのホイールスピードも見つけることができ、本戦に向けて非常に良い手ごたえを感じ取ることができた。

## (Saturday) 2024年8月10日

### 決勝トーナメント

TOP32の対戦相手はTaylor Hull選手(Chevrolet Corvette / Kenda Tires)。数年前も、ここシアトルで対戦をし、ワンモアタイムの末に負けを喫した相手で、シアトルのトラックを得意とするドライバーである。Kenda Tiresは今ラウンドに新たなコンパウンドのタイヤを間に合わせており、練習走行ではわたしたちを上回るバンクスピードを常に見せており、わたしたちにとっては後追い走行がカギになることを予想していた。1本目は私が先行走行。すべてのゾーンにおいてミスなくきっちりと走り切ることができたわたしに対し、終始Taylor選手は近い距離を保ち、同じラインを走行しているように見えた。入れ替えて、後追い。助走区間では並走できていたものの、バンクに突入した途端、車両2台分ほど距離を離されてしまう。Taylor選手はバンクから一段低い位置を走行しており、走行の結果、後追いで大きく離れたわたしのミスと、Taylor選手の先行走行のライントレースミスを相殺し、ワンモアタイムのジャッジがされた。

TOP32、ワンモアタイムの対戦。同じく1本目は先行走行。ここでも、最初の対戦同様、ミスなくフィニッシュラインを切り、わたしの背後に終始Taylor選手が迫る状況。入れ替えてわたしが後追い。今度こそ、しっかりとついていきたいところであったが、バンクに突入したところで最初の対戦同様大きく距離を離されてしまう。しかし、2台がバンクを下り始めたところでTaylor選手はマシンのコントロールを失い、コースアウト。ワンモアタイムの末、わたしたちはTOP16へ勝ち進んだ。

TOP16の対戦相手はAlec Robbins選手(NISSAN 350Z / Kenda Tires)。TOP32で対決したTaylor選手同様、Kenda Tires、そしてLSエンジンを搭載する車両を操るドライバーである。1本目、わたしが先行。ミスなくしっかりと走り切り、逆にその背後を走るAlec選手は走行ラインを犠牲にし、わたしとの距離を縮めに来ていた様子。わたしが後追いの際には、先行車両と同ラインでAlec選手の後追い時に比べて相手に迫ることが求められた。後追いのポジションでバンクに突入。先行のAlec選手はバンク突入後、終始マシンをふらつかせており、バンク後半には大きくラインを外し、内側にくっついてきてしまう。すぐ背後にいたわたしはわずかに接触を防ぎ、そのままアウトゾーン2、3とマシンを運ぶも、先行を走るAlec選手はインクリップ手前でスピン。結果、勝負はわたしたちに軍配。TOP8へ勝ち進んだ。

TOP8の対戦相手はHiroya Minowa選手(TOYOTA FRS / GTRadial)。今シーズン初戦、ロングビーチで対戦した以来のチーム対決である。互いが互いにマシンの特性や走行ラインを十分に分かっているがゆえに良い対決が見せられることを確信していた。1本目、わたしが後追い走行。助走区間ではよい距離を保ち、Hiroya選手がバンクに進入したところでわたしも進入のモーションに入る。ところがそのタイミングでクラッチにトラブルが発生し、そのためにサイドブレーキが効かず壁に接触してしまいそうになり、走行を止める。チームは5分間のタイムアウトを利用し、マシンの修復を試みる。明確な原因が掴めないまま5分が経過し、マシンをスタートラインに運び、ウォームアップを開始するもクラッチトラブルは修復していなかった。結果、この勝負をリタイヤすることを余儀なくされ、シアトルラウンドはTOP8進出、という最終結果となった。



TEAM UP GARAGE ISR Performance GT Radial

2024 FormulaDRIFT USA Race report

FormulaDRIFT USA 2024 TEAM UP GARAGE ISR Performance GT Radial  
協賛 / 協カスポンサー各社様

**UP GARAGE**

**ISR**  
PERFORMANCE

**GT** RADIAL

**YELLOW**  
SPEED RACING USA

**enjukuracing**

**Crooover**

**MOTUL**

**ORC**  
Original Racing Clutch

**TOMEI**  
The Engine Specialist

**FRSE**  
Racing Suspension Engineering

**WISEFAB**  
RACING WHEELS

**WedsSport**  
RACING WHEEL

KORU WORKS

**MW**  
MECHANIX WEAR

**az rag(s)**  
azrag.com

**DIAMOND**  
Pistons

**2** PERFORMANCE

**DEI**  
DESIGN ENGINEERING INC.

**SUPERTECH**

**radium**

**ROCKETLEVEL**

**MAD**  
SWEDEN

**BRIDE**

**Rocket Bunny**

**MAGNUS**  
M.C.

**Sendon.com**

**Ninja Style**  
MADE IN JAPAN

**FORMULA DRIFT**

TEAM UP GARAGE ISR Performance GT Radial

2024 FormulaDRIFT USA Race report